

グローバル・カフェ×留学生センター共催「韓国イベント」を開催しました

4月30日（火）、留学生センターとの共催で「韓国イベント」を開催しました。さぬきプログラムに参加している韓国人の Lee Sooa（以下、スア）さん、Kim Taeyeong（以下、テヨン）さんより韓国について、日本語で紹介していただきました。留学生 21 名、日本人学生 16 名、教職員 4 名の計 41 人が参加しました。

初めにスアさんからソウル特別市（ソウル）、テグ広域市（テグ）、済州道（チェジュ）など韓国の主要な都市と観光地の紹介がありました。ソウル市内に位置するロッテワールドは、世界最大規模の複合エンターテインメント施設とされています。テーマパーク、ショッピングモール、水族館、ホテルなどが含まれ、国内外から多くの観光客を魅了し、韓国の経済に大きな影響を与えていると話されました。また、韓国南部には「済州特別自治道」という韓国唯一の特別自治道（独自の行政権を持つ地方自治体）が存在し、同地域にある漢拏山（ハルラサン）国立公園や城山日出峰（ソンサンイルチュルボン）は世界自然遺産にも登録されており、登山やハイキングの人気スポットであるそうです。



テヨンさんは、韓国で流行しているものについて、目を緑色や青色に彩る「グリーンコアメイク/ブルーコアメイク」、男性アイドルが執事になりきって踊る「やれやれお嬢様チャレンジ」、ソウルの寒波を伝えるニュースを音楽にのせて歌う「ハンガン猫チャレンジ」などを、動画で楽しく紹介しました。その後、二人から旅行で使える簡単な韓国語のレッスンがあり「お会計をお願いします」「いくらですか?」「お手洗いはどこですか?」など、参加者と実践的な会話練習を行いました。

スアさんとテヨンさんは、国立ハンバツ大学校（韓国）で日本語を専攻されていることもあり、今イベントはすべて日本語で実施してくれました。イベント終了後も多くの学生が残り、交流を深めていた様子で、本学学生の韓国への興味の高さが伺えました。

